

第 34 回産研技術室報告会

奥村 由香¹ 古川 和弥²¹計測班 情報・広報係 ²工作班 装置開発係

開催日程

日 時:令和3年12月10日(金) 13:30~16:45

場 所:大阪大学 産業科学研究所 第2研究棟 共同プロジェクト室 および Webex によるオンライン配信

概 要

第34回産研技術室報告会を開催した。今年も新型コロナウイルス感染症予防のため会場の人数を制限し、Webexを用いたオンライン同時配信を行った。参加・聴講人数はオンサイト21名、オンライン44名の合計65名であった。講演及び技術職員発表の演題を下記に示す。

- ・「大阪大学コアファシリティ構想が目指す先:経営と現場 2つの視点から」 大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター / コアファシリティ推進室 古谷 浩志 准教授・副センター長 (特別講演)
- ・「総合技術部の概要と技術職員の役割について」 山口大学総合技術部 渡邊 政典 総合技術部長 (招待講演)
- ・「ナノマイクロ立体空間制御構造試料の創製と機能開拓=所内設備を活用した多角的な研究例=」 大阪大学産業科学研究所 3次元ナノ構造科学研究分野 服部 梓 准教授 (ユーザーズレポート)
- ・「産研技術室の紹介について」 技術室長 大西 正義
- ・「オンラインイベントに関する業務支援について」 計測班 奥村 由香
- ・「電子ビーム振り分けシステムのためのLバンド制御システムの改修と開発」 工作班 古川 和弥
- ・「物質・デバイス領域共同研究拠点の拠点本部移行に伴うWEB関係の作業について」 計測班 相原 千尋

所感

大阪大学で今年度採択されたコアファシリティ事業には技術職員の能力向上と活躍促進が含まれている。そこでコアファシリティ推進室の古谷先生に依頼し、事業内容の詳細と技術職員の位置づけに関して講演をいただいた。また本学より1年早く本事業に採択された山口大学の渡邊総合技術部長からは、総合技術部における人的リソースの管理・運営や再雇用職員の若返りと技術伝承の双方を推進するテニュアトラック制度などをご紹介していただき、組織マネジメントに関して学ばせていただいた。ユーザーズレポートでは服部先生からこの10年位の研究の成果と、他分野に渡る技術室の研究支援との密接な関係性をお話いただいた。本講演会では遠方から多数の技術職員や教員に講演・聴講をいただき、ハイブリッド配信のメリットが享受できた。今回の講演内容では目まぐるしいオンライン配信環境の変遷を取り上げたが、今後も新たな技術を取り入れて、産研に微力ながら貢献していきたい。最後に参加していただいた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。



リモート講演時のオンサイト会場の様子